

三内丸山遺跡は **冬もイベント盛りだくさん!**

冬の三内丸山遺跡を見学・体験してみませんか?三内丸山遺跡は、冬も外の遺跡を見学できるようになっています。今年の三内丸山遺跡は、冬季企画展や発掘調査速報展、三内丸山縄文冬まつりなどイベント盛りだくさんです。この機会に冬の三内丸山遺跡を楽しんでください。

冬季企画展 **三内丸山ムラが一番おおきかったころ**

縄文時代前期～中期の1,700年もの長きにわたって営まれた三内丸山ムラ。中期ごろのムラが一番大きくなるころには周辺にも次々にムラがあらわれます。本展は、三内丸山ムラとその周辺の具体的な姿に迫ります。

**会期** 1月18日(土)～3月15日(日)  
 休館日:1月27日(月)・2月25日(火)  
 観覧時間:9時～17時(最終入館16時30分)

**観覧料** 無料  
 遺跡を含む常設展の入場料で観覧できます。  
**常設展 入場料**  
 大人410円、高校生・大学生200円、  
 中学生以下無料



同時開催 **さんまる速報展!2019**

平成28年度から発掘調査が続く遺跡北端部の調査成果を中心に紹介します。普段は見られない調査中の写真や出土遺物と共に遺跡北端部のなぞに迫ります。

**関連イベント** ※詳細はチラシやHPをご覧ください。  
 土偶づくり体験 2月1日(土)  
 三内丸山遺跡報告会 3月14日(土)  
 ガラリートーク 会期中の土日祝



三内丸山縄文冬まつり **★入場無料★**

雪と縄文を遺跡で楽しむ2日間!  
 発掘ひろばや雪中リンゴさがし、大型すべり台など、子どもはもちろん、大人も楽しめるイベントをたくさん用意しています。  
 企画展関連ワークショップも行います!

**開催日** 2月15日(土)・16日(日)  
 ※期間中は入場無料!



**カクヒログループ アスレチックスタジアム がオープンしました!!**

令和元年9月1日、新青森県総合運動公園内にカクヒログループアスレチックスタジアム(陸上競技場)がオープンしました。主陸上競技場、補助陸上競技場、投てき・アーチェリー場からなり、主陸上競技場の屋内施設は一年を通じてトレーニングすることができます。



冬季間も、周回走路やトレーニングルームで運動ができるよ!!  
 ※利用料金はこちら

●利用料金

個人	小・中学生	1時間	40円
	高校生	1時間	70円
	一般	1時間	100円
団体	20人以内	小・中学生	1時間 440円
		高校生	1時間 780円
		一般	1時間 1,180円
	20人を超える場合	お問い合わせください	

※貸切料金については、お問い合わせください。  
 ※夜間(4～9月は19:00～、10、11月は17:00～)に屋外施設を利用する場合は、別途料金がかかります。

●営業時間

	日・月・水・金	火・木・土
主競技場(屋外)	9:00～19:00 (10、11月 17:00まで)	9:00～21:00
トレーニングルーム・周回走路・室内練習場	9:00～21:00	

※主競技場(屋外)の今年度の営業は終了しています。  
 ※休館日:毎月第3火曜日(祝日の場合は翌平日)、12月31日～1月2日

- Q** トレーニングルームはどのように使用するの?  
**A** エントランスホール内の券売機でチケットを購入し、受付に提示してから利用してください。利用後も受付にチケットを提示してください。着替えや荷物置き場にロッカールーム(シャワールーム)を使うことができます。なお、トレーニングルームの利用は中学生以上になります。
- Q** 周回走路で走った後、トレーニングルームを使う場合の料金は?  
**A** 時間内であれば競技場(トラック)も周回走路もトレーニングルームも使えます。その場合、チケットは最も利用時間が長いものをご購入してください。
- Q** トレーニングルームの機器の使い方がわからない場合は?  
**A** スタッフが簡単な説明をしますので、お気軽にお声がけください。

# 令和2年4月、新たな『青森県立黒石高等学校』が開校します!

黒石高等学校と黒石商業高等学校の統合による統合校の名称は『青森県立黒石高等学校』に決定しました。現在、令和2年4月の開校に向け、準備を進めています。  
今回は新たな黒石高校についてその一部を紹介します!



## 目指す人材像

- ・社会の一員として**地域づくりに意欲的に参画する人材**
  - ・マーケティング活動等に活用できるデザインに関する専門的な知識・技能を身に付け、**地域経済の発展に貢献する人材**
  - ・看護に関する専門的な知識・技能を身に付け、**地域医療を支える人材**
- ※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人材」と表記しています。

## 学科・募集人員(令和2年度)

**普通科** 3学級 120人

●大学進学に幅広く対応した類型や、就職にいかせる資格取得・検定合格につながる類型により、生徒の多様な希望進路に対応します。

**情報デザイン科** 1学級 40人

- 専門的な知識の修得と実技の習得を目指し、商業や広告ポスターなどのグラフィックデザインに関する専門的な授業を展開します。
- 現在、黒石高校の校舎に情報デザイン科の生徒のための実習用パソコンのある実習室を整備しています。

**看護科** 1学級 40人

- 病院での実習、医師等による授業も展開し、高校3年間と専攻科の2年間を合わせた5年一貫教育により、看護師を養成します。助産師・保健師・養護教諭養成の上級学校進学や大学への編入も可能です。

## 部活動

**運動部**

陸上競技 硬式野球  
ソフトボール サッカー  
ソフトテニス バレーボール  
卓球 バasketボール  
フェンシング バドミントン  
剣道 柔道  
弓道

**文化部**

自然科学 英語  
吹奏楽 軽音楽  
美術 書道  
放送 家庭  
茶道 JRC  
演劇 パソコン  
よされ踊り保存 イラスト・漫画研究  
チアリーディング

## 校章

黒石商業高校情報デザイン科の生徒が作成した右のデザインになりました。黒石市中野もみじ山の紅葉をイメージし、連なる菱形は黒石高校と黒石商業高校の校訓と津軽こぎん刺しのイメージを重ね、統合する2校から伝統を紡いでいくという想いを表現しています。



## 制服



## 「新たな黒石高校」Q&A

**Q1** 入試(高等学校入学者選抜)はどこで行われますか?

**A1** 現在の黒石高校で行います。

**Q2** 部活動や学校行事はどうなりますか?

**A2** 令和2年度と3年度の2年間は現在の黒石高校の生徒とともに学校生活を送ることになりますので、部活動や学校行事も共に活動します。

**Q3** 所在地とアクセスを教えてください。

- A3** 黒石市西ヶ丘65です。(現在の黒石高校の校舎)
- ◆弘前駅→(弘南鉄道弘南線(約35分))→黒石駅→(徒歩7分)→黒石高校
  - ◆川部駅→(弘南バス川部-黒石線(約15分))→黒石高校前バス停→(徒歩5分)→黒石高校
  - ◆浪岡駅→(弘南バス浪岡-黒石線(約20分))→黒石駅→(徒歩7分)→黒石高校



新たな黒石高校に関する情報は、[黒石高校 開設準備室](#)   でチェックしてみてください!

ホームページ <http://www.kuroishi-pre.asn.ed.jp/>

☎ 中南地区統合校開設準備室(黒石高校内) TEL.0172-52-4321 高等学校教育改革推進室 TEL.017-734-9866



## 高等学校における特別支援教育体制強化事業

# 特別な教育的ニーズのある高校生の支援体制の充実を図っています

特別な教育的ニーズのある高校生の学びを支援するため、県教育委員会では、昨年度から「高等学校における特別支援教育体制強化事業」を実施しています。県立の高等学校へ進学した後も、必要に応じて支援が受けられるようにするための取組の一部を紹介します。

## 高等学校の校内支援体制の整備を進めています

特別支援教育に関して高い専門性を有する校内支援アドバイザーの指導・助言のもと、高等学校に対して、校内支援体制の整備や青森県教育支援ファイル\*の活用を図っています。その結果、高等学校で個別の指導計画の作成率が前年度の1.5倍に向上しました。

校内支援アドバイザーによる助言等を年2回受けています。

個別の指導計画を作成し、支援方法などを教員間で共有することが有効です。

※青森県教育支援ファイルとは、特別な教育的ニーズのある生徒への一貫した指導及び支援の充実を図るために作成する各種計画をまとめたものです。



## 支援の引継ぎに関するリーフレットを作成しました

青森県教育支援ファイルの活用促進のためリーフレットを作成し、支援の引継ぎに係る普及啓発に取り組んでいます。その結果、個別の教育支援計画を高等学校に引き継ぐ中学校が増えました。

進学先決定時から入学式後までの引継ぎの流れやポイントが中学校と高等学校の教員に向けて詳しく書かれています。



## 特別支援教育に関する校内研修会を実施しました

高等学校の教員を対象に特別支援教育に関する専門性を高めるための研修会を実施し、1,700人が発達障害の理解や具体的な支援方法など、基礎的な内容について学びました。

特別な教育的ニーズのある生徒に対する関わりのポイントが分かりました。参考にしていきたいです。

担当者だけでなく、教員全員で共通理解する重要性を認識しました。研修会を1回だけでなく、何回も実施してほしいと思いました。



「青森県教育支援ファイル」や「引継ぎに関するリーフレット」などの情報については、教育委員会ホームページをご覧ください。

☎ 学校教育課 特別支援教育推進室 TEL.017-734-9882

青森県特別支援教育情報サイト

# 「つながる」~コミュニティ・スクール導入で学校・地域が活性化!~

平成30年度に県立学校で初めてコミュニティ・スクールを導入した森田養護学校の活動の様子を取材してきました

## コミュニティ・スクールとは?

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営や子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。新学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程」の実現につながります。

## 活動のようす

### 安全・安心な学校づくりと防災への備え 近隣地域との合同防災訓練の実施

令和元年5月、鯉ヶ沢町総合防災訓練に参加しました。森田養護学校は鯉ヶ沢町との境界に位置しており、鯉ヶ沢町に地域への協力を申し出たことから、連携がはじまりました。森田養護学校の特性を生かし、教職員の協力のもと、障害のある人や高齢者を受け入れる避難所を設ける等、今後も連携を深めていくこととしています。



### 学校の力を地域に 除雪ボランティア隊「森田インパルス」出動!

平成31年2月、中学部の2・3年生の4名の生徒が、つがる市社会福祉協議会森田支所と連携して、高齢者宅で除雪ボランティアを行いました。住民の方に喜んでもらえたことで、生徒達は充実感を得られたようでした。今年度も隊員を増員して出動に備えています!



### スポーツを通じた地域との連携 全校ウォーキング

令和元年10月、つがる市ウォーキングの会と保護者ボランティアの方々の協力のもと、小学部から高等部までの縦割りグループでウォーキングを楽しみました。将来は、高等部が清掃ボランティアを行っているつがる地球村で開催される「つがる市おこワーク」など地域のスポーツイベントに家族と一緒に参加することを目指しています。

### 学校間交流で地域とつながる 交流及び共同学習

森田養護学校とつがる市森田地区の小・中学校では、学校間の交流及び共同学習が積極的に行われています。取材当日も森田中学校と「ポッチャ」を通して交流を深めていました。



森田養護学校が目指す地域とともにある学校 地域の防災拠点の学校 地域に貢献する学校

地域への積極的な動きかけが徐々に実を結び、地域との連携の輪が広がってきていると感じました。県立学校では、今年度新たに弘前養護学校、八戸高等支援学校の2校がコミュニティ・スクールを導入しています。これらの活動が子どもたちの豊かな成長につながっていくといいですね!

森田養護学校では森養コミュニティ・スクールだより「つながる」を学校HPに掲載しています。 <http://www.morita-shien.asn.ed.jp>

